

第4回「長野県は宇宙県」ミーティング
@大町公民館分室

2020.02.22



「長野県は宇宙県」ミーティング 総会

15:45～

おしらせ

- 販売や無料配布物、お菓子などがありますので、ご利用ください。
- マナスル天文館の**星空案内人講座**への参加は締め切ったようですが、急遽「長野県は宇宙県」関係の**4名**のみ可能として頂きました。ご希望の方は、「星空ファクトリー」まで直接ご連絡ください。



2020.02.22

「長野県は宇宙県」ミーティング 総会

衣笠 健三

「長野県は宇宙県」連絡協議会事務局
国立天文台 野辺山宇宙電波観測所



内容

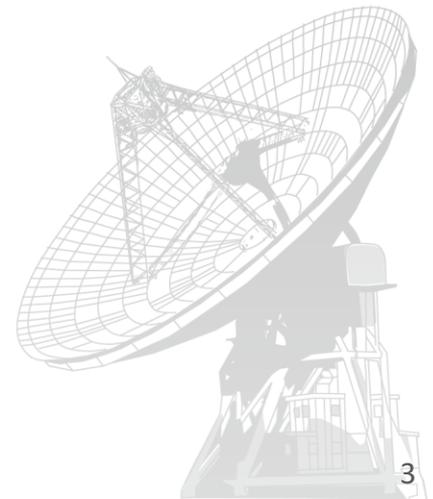
0. はじめに ～この一年の活動～

1. 体制

- 役員、会計、規約など
- ロゴの利用規定

2. 今後の活動

3. その他の連絡



長野県といえは…

- 多くの天文施設

- 国立天文台・野辺山宇宙電波観測所
- 東京大学木曾観測所
- JAXA臼田宇宙空間観測所
- 電通大菅平宇宙電波観測所



- 日本の屋根

- 平均高度、平均居住高度とも日本一



信州大
宇宙航空部品製作
2011/09/07 Kouji Ohnishi

- 美しい星空

- 多くのプラネタリウム

- 油井宇宙飛行士の出身地

➡ 日本で最も”宇宙”に近い県

長野県は宇宙県

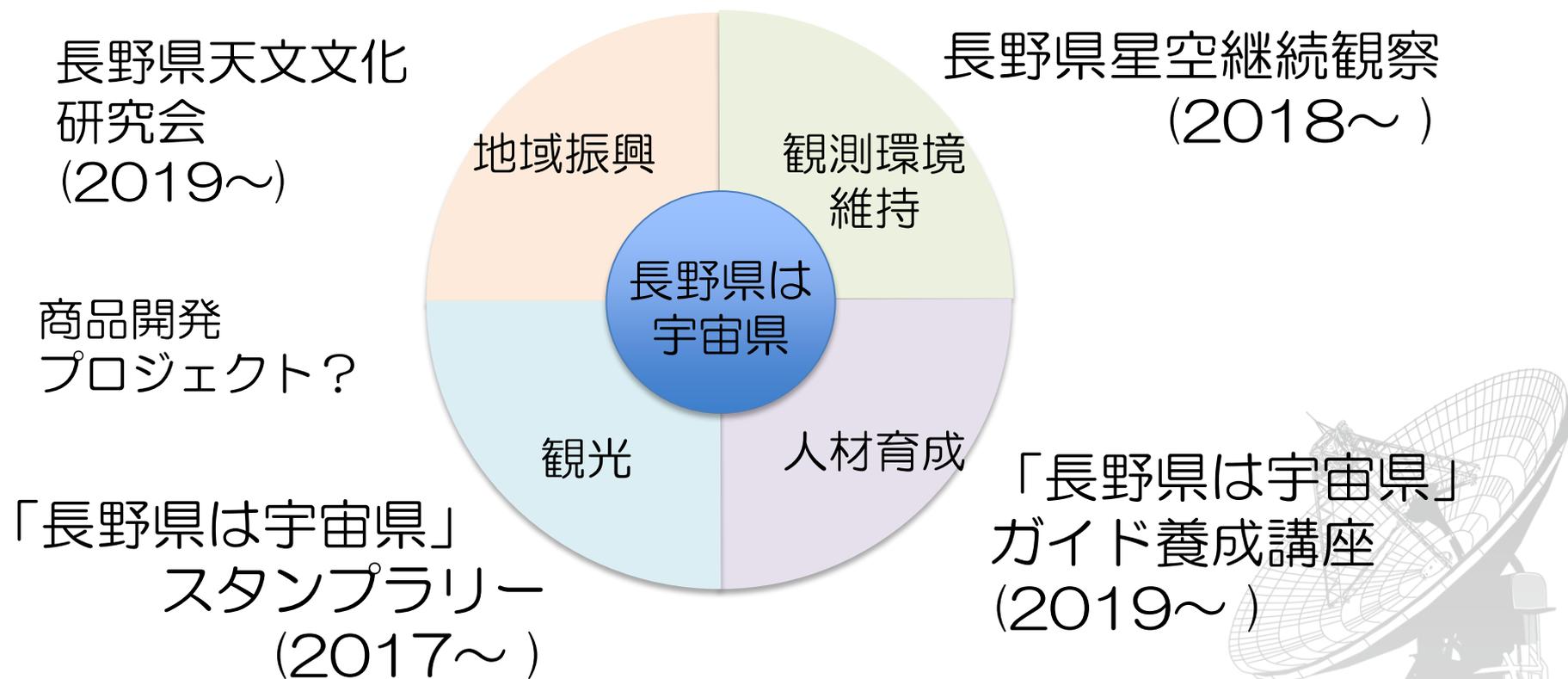
「長野県は宇宙県」の活動



- 2015年7月 野辺山宇宙電波観測所内にて発起
- 2016年3月 川上村「亀の恩返し」 野辺山所長と阿部知事
- 2016年5月 長野県プラネタリウム協議会
- 2016年7月 東大木曾観測所 木曾所長と阿部知事
- 2017年7月 天文観測研究施設会議 開始(野辺山、木曾から)
- 2016年9月 長野県庁を初訪問
- 2016年11月 第1回「長野県は宇宙県」ミーティング@信州大
- 2016年11-12月 ホームページ、SNS(Facebook、twitter)開始
- 2017年2月 ログ決定
- 2017年3月 星空案内人シンポジウム、天文学会にて発表
- 2017年5-6月 「長野県は宇宙県」スタンプラリークラウドファンディング
- 2017年7-8月 サマースタンプラリーイベント実施
- 2017年11月 長野県天文愛好者連絡会(仮称)スタート
- 2018年2月 第2回「長野県は宇宙県」ミーティング@長野高専
- 2018年7月 長野県星空継続観察ミーティング in 塩尻
- 2018年7-11月 「長野県は宇宙県」スタンプラリー2018実施
- 2018年11月 第2回長野県星空継続観察ミーティング in 塩尻、
第2回長野県天文愛好者連絡会(仮称)
- 2018年11月 県政ランチミーティングにて知事と懇談
- 2019年2月 第3回「長野県は宇宙県」ミーティング@木曾
- 2019年7-9月 「長野県は宇宙県」スタンプラリー2019実施
- 2019年8月 第3回長野県星空継続観察ミーティング in ながはく
- 2019年10月 長野県天文文化研究会スタート
- 2019年11月 第4回長野県星空継続観察ミーティング in 塩尻、
第3回長野県天文愛好者連絡会
- 2019年11-12月 第1回長野県星空ガイド講座実施
- 2020年2月 第4回「長野県は宇宙県」ミーティング@大町

「長野県は宇宙県」の活動

「長野県は宇宙県」ミーティング(2016～)





長野県星空継続観察WG (宮地さん報告)

- 「長野県は宇宙県」の活動の一環として
- 長野県内の星空測定について

☆ 設立の動機

- 『長野県は本当に暗いのか?』
- 環境省星空継続観察の再開 2018年夏より
- 長野県内での星空測定の実績
- 全国での星空を環境資源として活用する動き

☆ 長野県星空継続観察ミーティング

- 光害や夜空の暗さ測定に関心のある方々(県など行政も)
- 長野県内の現状把握と環境省星空観察の参加方法の検討
- 長野県内における継続観察の組織作り
- 2018年度の夏と冬の星空観察の系統実施にむけて

☆ 長野県内への呼びかけと取りまとめ

- 測定マップを作成し、測定目的と現況の可視化

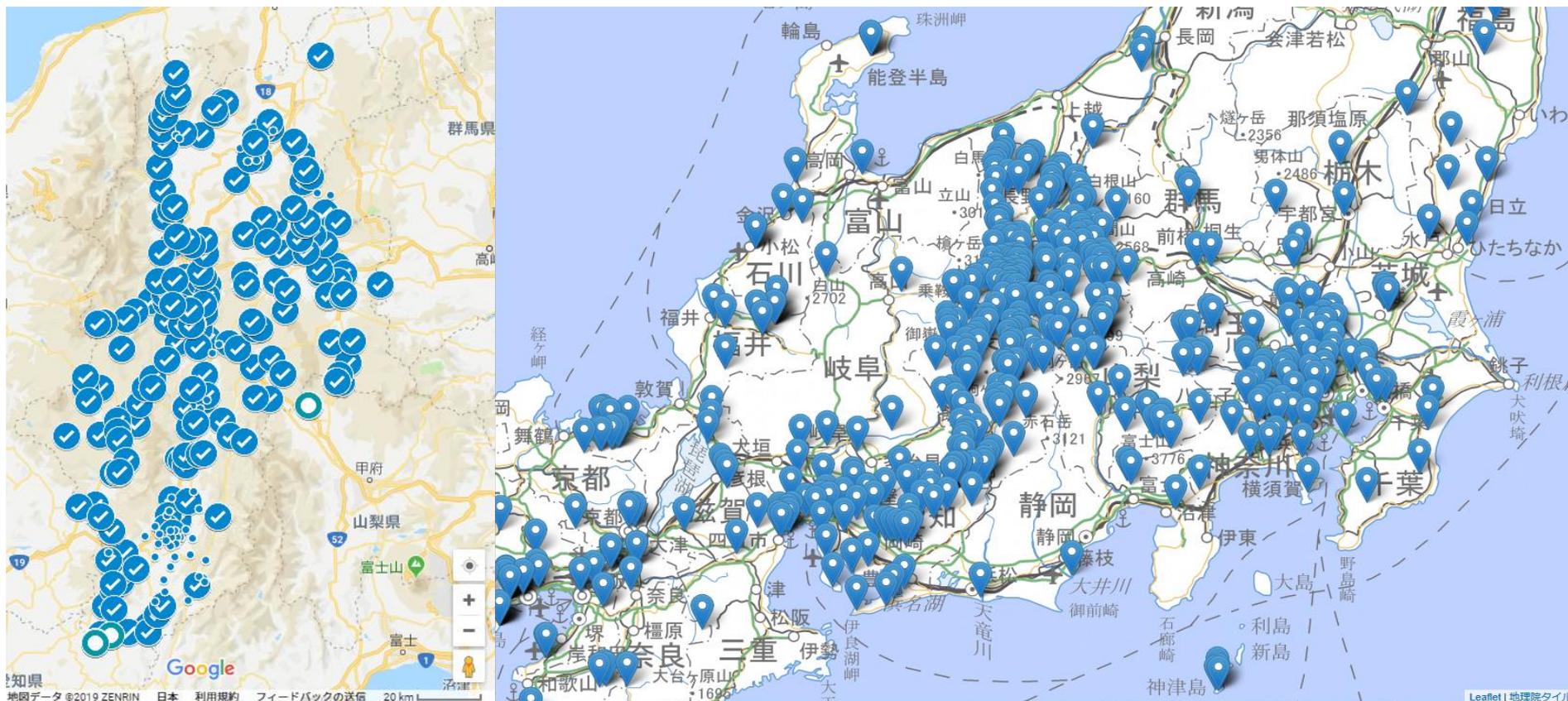


第一回長野県星空継続観察ミーティングの様子



夏季測定時の
長野県「星空観察」測定マップ

2018年度冬季測定状況



236地点の測定を達成！

長野県星空継続観察WG

- 「長野県は宇宙県」活動の一環としての夜空の暗さ測定
- 長野県の有志による活動
- 環境省星空観察と連動
- 全国一の計測数
- 今後の継続と計測最適化

「どこでも天の川が見られる県」
をめざして



長野県天文文化研究会 (陶山さん報告)

目標：知りたいこと

- なぜ、長野県は宇宙県なのか？
 - 歴史的、文化的にも宇宙県なのか？
 - 科学史、天文史上の位置づけ
- 近世と近代のつながり
 - 江戸時代と明治以降は断絶しているように思えるが...



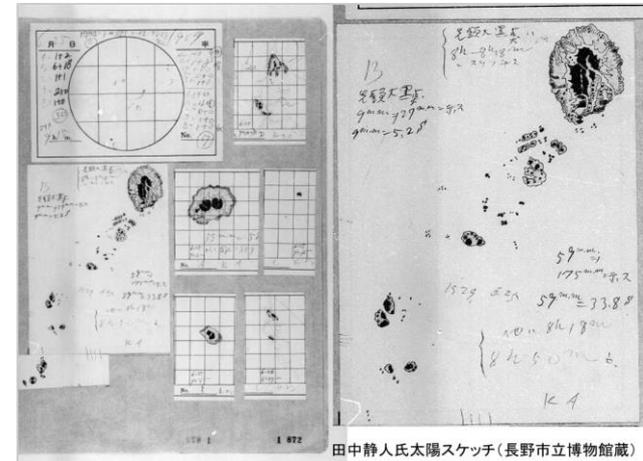
長野県天文文化研究会

具体的テーマ

- 江戸時代の天文学
 - どんな資料が残されているか
 - 観測機器、文書、星図など
- 近現代の天文学
 - 日本の太陽観測のはじまり（三澤勝衛）
 - 近代初期の望遠鏡（中沢登）
 - アマチュア天文家と同好会の活躍
 - 観測所（野辺山、木曾など）の歴史



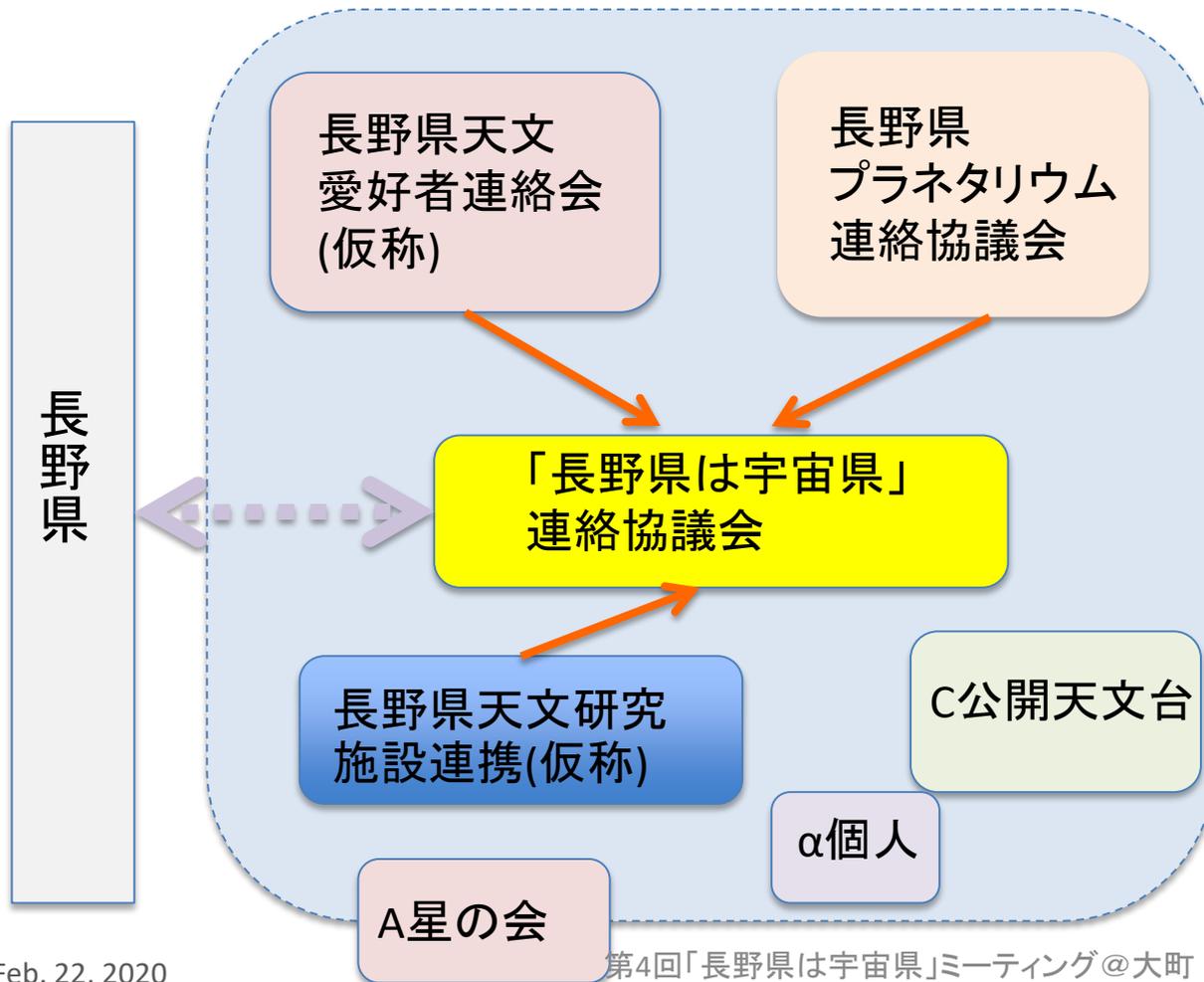
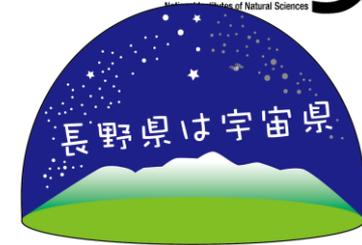
天体中星儀(真田宝物館蔵)



田中静人氏太陽スケッチ(長野市立博物館蔵)

「長野県は宇宙県」体制

現体制イメージ



連絡協議会

- ハブ的な組織として
 - 3団体からの何人かの代表で組織
 - それぞれのニーズが反映できる
 - 会員制でない
- 長野県(や外部)との窓口役と調整役
- MLについては今のまま賛同する有志で構成
(「MLメンバー」とする)

長野県は宇宙県」体制

連絡協議会会長(代表)

長野県の事情に精通し、県に対しても話せる方

大西浩次氏(長野高専教授)

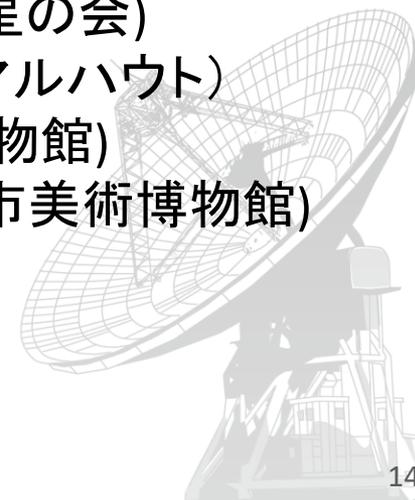
連絡協議会事務局

国立天文台野辺山 衣笠 健三

連絡協議会メンバー

小林尚人(副会長、UT木曾)
青木 勉(UT木曾) [会計担当]
森 由貴(UT木曾)
征矢野隆夫(UT木曾)
村田泰宏(JAXA臼田)
三澤 透(信州大)

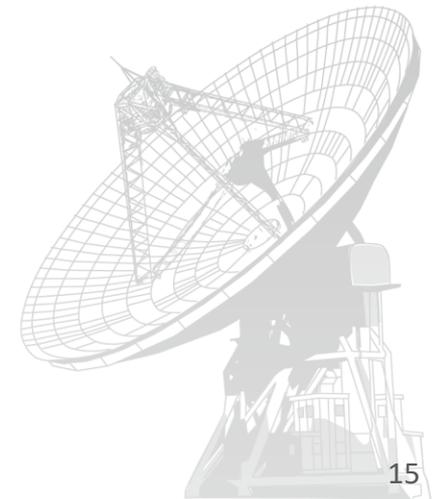
立松健一(NAOJ野辺山)
百瀬雅彦(塩尻星の会)
宮地美由紀(塩尻星の会)
丸山卓哉(フォーマルハウト)
陶山徹(長野市博物館)
吉住千亜紀(飯田市美術博物館)



「長野県は宇宙県」体制

会計について

- 会計報告
- 旅費支給基準について



「長野県は宇宙県」体制

ロゴの使用方法について

- 参加費無料などの
公益目的で改変なく使用する場合は申請不要。
- 申請手続きが必要なもの
 - 営利目的
 - イメージの改変

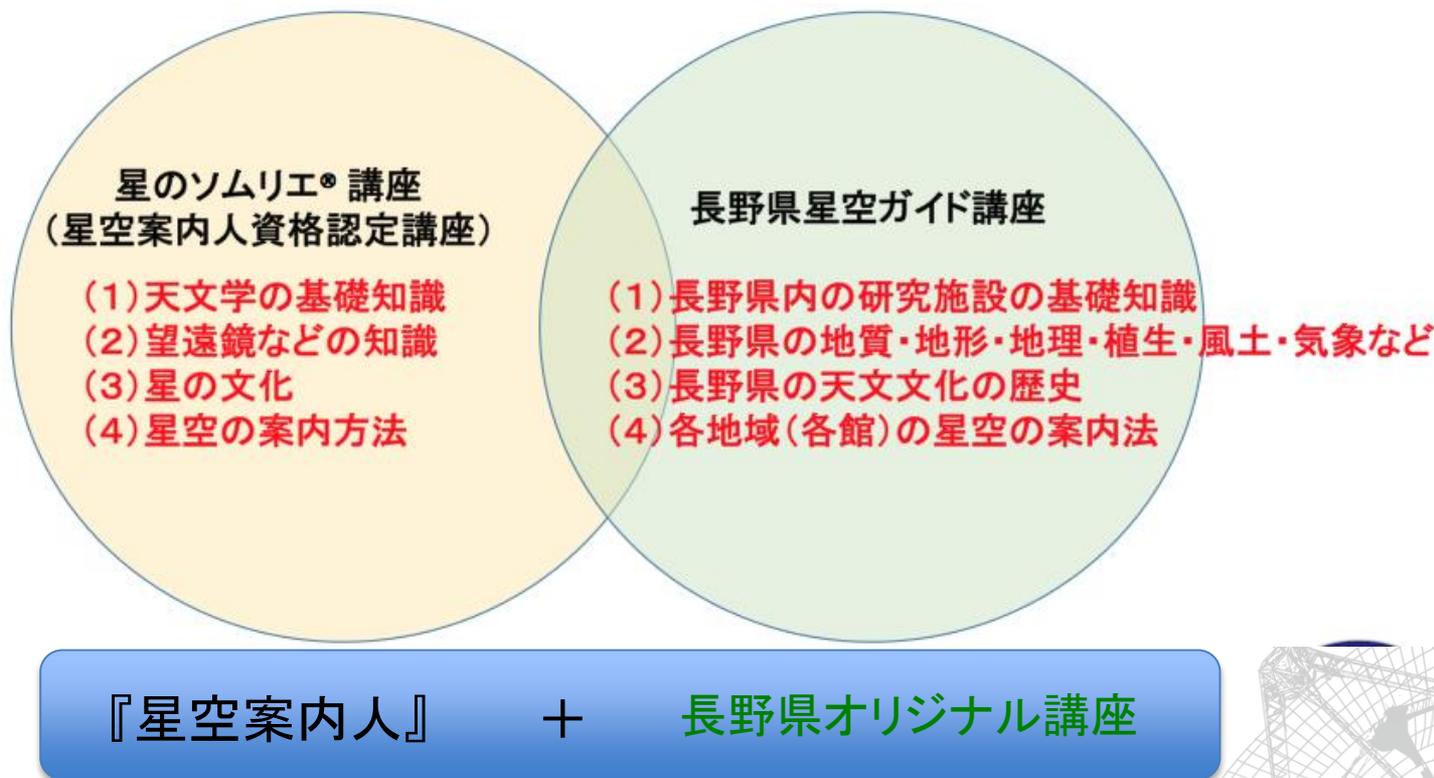


規約について

- 2019.4.1より施行
- 役員：会長、副会長、事務局長
- 会計



「長野県は宇宙県」ガイド養成講座



「第一回目 @ 木曽」を試行実施(青木さん報告)

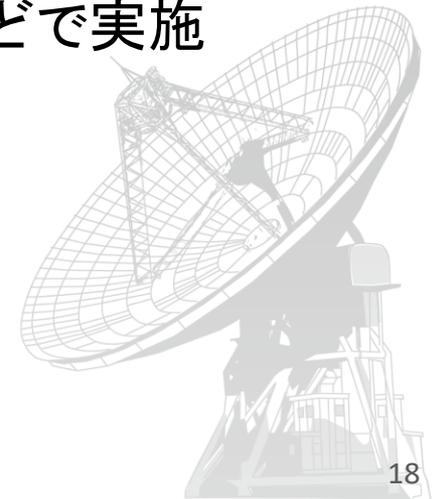


今後のイベントなどについて

星空ガイド講座を今後どうするか



- 実行体制と資金
- 長野県からの環境政策課からの提案
 - 「環境への理解と観光振興のための人材育成」
 - 環境カレッジからのサポートにて実施？
- 星空案内人養成講座との住み分け
 - 佐久、池の平、マナスル、スターラウンドハヶ岳などで実施



今後のイベントなどについて

スタンプラリーをどうするか？

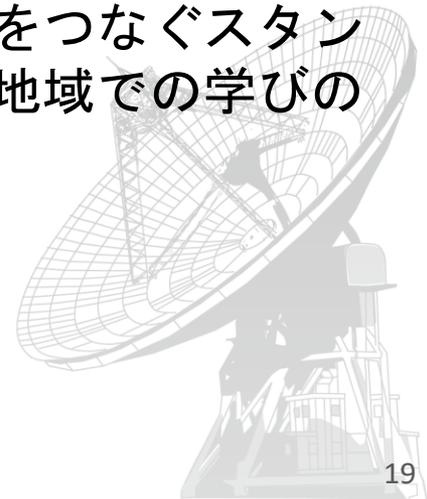
• 実行体制と資金の問題

- 長野県からのサポート案としての「環境カレッジ」
- 今年度のように「宇宙・星空コース」としての特別枠はない



「講演会(サイエンスカフェ)・観望会」スタンプラリー
 というのはどうでしょう？

常設スタンプではなく、観望会や講演会を各地で行うものをつなぐスタンプラリーです。全体の参加者は少なくなりそうですが、各地域での学びのきっかけになるのではないのでしょうか？



その他、お知らせなど

ロゴを使った商品開発

- 大西プロジェクト 「長野県は宇宙県」ワイン
- さらに？

天文学史研究会 in 長野県 (2022年?)

- 諏訪天文同好会100年に合わせて



内容

0. はじめに ～経緯から～

1. 体制づくり

- 役員、会計、規約など
- ロゴの利用規定

3. 今後の活動

- 長野県星空ガイド講座の展開について
- 今後のスタンプラリーについて
-

4. その他の連絡

- ロゴを使った商品制作について
- 諏訪天文同好会100年を記念した研究会

